

(様式1・小学校用①)

令和6年度 学校評価報告

草加市立八幡小学校

(令和7年2月20日作成)

1 学校教育目標 勉強する子 良い子 強い子	
2 重点目標・努力目標 <ul style="list-style-type: none">・やる気で勉強する子の育成・はっきりあいさつする子の育成・たくさん運動する子の育成	3 前年度の成果と課題 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">○草加市の研究委嘱を受け、指導力の向上に取り組めた。また、アンケートの結果より、川柳中学校区の子どもの自己肯定感・自己有用感に関して明らかな伸びが見られた。○読書にかかわる活動の充実により、自然に読書に親しむ児童が多く見られるようになっている。○働き方改革もふまえた行事の実施を行うことができた。PTAと各町会との共同で実施したやはた祭もさらに充実した取り組みとなった。○地域を見守り続けていただいた、スクール・ドリーマーとみはるくんのシラコバト賞、市政功労賞を受賞と学校の安全を見守る活動が評価された。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">●プログラミング教育、情報モラル教育のさらなるICT機器の活用について校内で検討し、実施していく必要がある。●幼保小中を一貫した教育の成果を次年度に引き継ぎ、川柳中学校区の子どもの自己肯定感・自己有用感の育成に取り組む。●新体力テストで課題となっている項目も含め、引き続き児童の体力向上にかかわる取組の実施を行う。

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none">・学校経営目標、方針・校務分掌組織・適所への適材配置・職員会議等の運営・予算の執行・決算、監査等	A	<ul style="list-style-type: none">○保護者、地域からの理解と協力のもと適切な組織運営ができた。●業務量とのバランスをはかり、さらに円滑な運営に取り組む。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none">・研究組織、計画、実施・校内研修の推進・授業改善への取組・校外研修会への参加・人材育成	B	<ul style="list-style-type: none">○校内研修を充実させ、職員による授業改善の取組がよく見られた。●効果のあった算数以外の教科や領域の研修を進めていく。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none">・保健計画、安全計画・環境衛生の管理・健康観察、安全点検・緊急事態発生時の対応・危機管理マニュアルの作成・活用	A	<ul style="list-style-type: none">○感染症による学級閉鎖がほぼなく、適切に児童の感染症対策を行うことができています。●引き続き、学校事故0の継続と安全・安心な学校づくりを行う。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none">・個人情報の管理、保護・施設設備の管理と有効利用	B	<ul style="list-style-type: none">○個人情報適切に管理され、施設が原因の大きな事故やけがは0であった。●引き続ききれいな学校づくりに取り組み、適切な学校環境を維持していく。
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none">・学校情報の発信・学校公開の実施・学校運営協議会の推進・地域、校種間連携・PTA活動の活性化	A	<ul style="list-style-type: none">○今年度から実施されたやはたRelationshipと市民防災避難訓練が充実した取組となった。●学校の取組をさらに発信し、地域と連携を行っていく。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none">・目指す子ども像の共有・15年間を通じたカリキュラムの編成・一貫教育推進のための組織づくり	B	<ul style="list-style-type: none">○給食体験や連絡協議会等、川柳中学校区の児童生徒理解を進め、目指す子ども像を共有できた。●さらなるカリキュラムの充実に取り組む。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<p>○教育目標が保護者、地域に周知され、充実した教育活動が実施された。</p> <p>●適切な時数のさらなる見直しをして、より効果的に教育活動を行う。</p>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<p>○分かりやすい授業が展開され、主体的・対話的な授業の充実が行われた。</p> <p>●限られた時間の中ではあるが、さらに研修を充実させ、授業改善を行う。</p>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<p>○市の道徳推進事業を活用し、考え議論する道徳授業を推進することができた。</p> <p>●他教科との結びつきをさらに深め、実践を行う。</p>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<p>○児童が楽しく外国語に親しむ授業を行うことができた。</p> <p>●中学校とさらに連携を深め、授業を行う。</p>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<p>○校内研修により、学級活動の授業が充実し、活発な話し合いが行われた。</p> <p>●今後も自己肯定感を高める特別活動の計画を行っていく。</p>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<p>○校外学習等とリンクするなど、教科横断的な学習を行うことができた。</p> <p>●系統的なプログラミング教育の計画の作成、立案を行う。</p>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<p>○問題が起きた時には、迅速に共通理解を図る等、常に組織的に対応した。</p> <p>●多様化する問題に対して、組織的に取り組めるよう今後も共通理解を行う。</p>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<p>○夢や希望について考える時間を設定し、キャリア教育を行っている。</p> <p>●家庭や地域とともに、自立する力を高めるための教育を充実させる。</p>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<p>○個別の指導計画をもとに、一人ひとりへの適切な指導を行うことができた。</p> <p>●様々な児童に対してさらなる支援方法の研修を行い実践する</p>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<p>○クラス平均貸出数65冊を目指し、図書委員会の活動もよく行われ、多くの児童が読書に親しんでいる。</p> <p>●引き続き読書好きな児童を育成する。</p>
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<p>○外部指導者によるプログラミング教育の実施やタブレットを使った普段の学習が充実した。</p> <p>●系統的なプログラミング教育を行う。</p>

⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○人権作文、標語に取り組み、様々な人権問題に触れ、人権教育に取り組んでいる。</p> <p>●今後も、人権感覚の育成に取り組み、各教科と関連させながら児童の教育を行う。</p>
-------	--	---	---

(様式1・小学校用③)

草加市立八幡小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①学力向上への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な学力向上 ・校内研修の充実 	A	<p>○全国学力学習状況調査と埼玉県学力学習調査において、国語・算数とも平均点が同程度かそれ以上となり、高い学力を身に付けている。</p> <p>●引き続き、高い水準を維持できるよう学力の向上に取り組む。</p>
	②体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫改善 ・年間指導計画の改善 ・授業外活動の推進 	B	<p>○新体力テストでは、A+B、A+B+Cの結果が県平均よりも上回っている。</p> <p>●昨年度に引き続き、上体起こしに課題が見られた。</p>
	③規律ある態度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活での取組 ・家庭との連携 	A	<p>○保護者からのアンケートからも、8割以上の肯定的な意見が上がり、あいさつもできるようになってきたとの声も地域から上がっている。</p> <p>●引き続き、あいさつ、そうじのできる児童の育成に取り組む。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○算数科と特別活動の校内研修を実施し、自己肯定感・自己有用感、他者理解を深める実践を行うことができた。算数科においては、草加市教育研究会の授業実践と研修を兼ね、限られた時間の中でも効率的に研修ができた。また、研究に対する他校職員の意見も聞け、有意義な研修を実施することができた。

○学校図書館の貸出数、年間65冊以上の読書量の目標に取り組み、委員会活動や日々の学級担任の声掛け等によって、自然に読書に取り組む児童の割合が、昨年度に引き続き高い水準で保たれている。

○今年度、名称を変えて行われた保護者が主体となる『やはたRelationship』や地域が主体となる、市民防災訓練が円滑に実施され、地域、保護者との強い結びつきが再確認された。

○外部講師を招聘してのプログラミングの授業や各学年でのプログラミング教育など、情報教育を推進することができた。

6 次年度の改善策

●成果を上げている研修を、さらに八幡小児童の自己肯定感・自己有用感、他者理解を進めるため、見直しを行いさらにより良いものとしていく。

●評価で伸びは見せているものの、引き続きICTを活用した授業の実践に取り組み、保護者、地域に発信を行う。

●年間を通じて運動量の確保に努め、学校や学級の取組も活性化している。さらに、自己の伸びが実感できるように、体育の授業や体力向上の取組について工夫改善を行う。